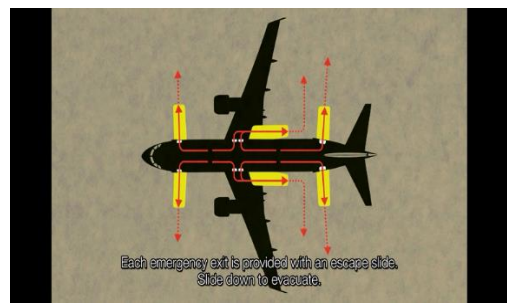


業種	航空
取組分野	利用者に対する安全啓発（コミュニケーション（6））
テーマ	機内で放映される安全ビデオによる利用者に対する安全啓発
取組の狙い	機内空間をジャズラウンジに見立てた機内安全ビデオを上映して乗客の興味と注意を引くことにより視聴促進を図り、機内安全ビデオの主旨を伝えて理解を促す。
具体的内容	<p>株式会社スターフライヤーは、2014年9月から現在まで、機内の旅客に対して「安全について伝えたい・協力願いたい事項」を離陸までの短い時間に周知するため、以下の特徴を備えた機内安全ビデオを作成して上映している。</p> <p>① 視聴促進を図る構成（ストーリー性、疑似体験） 機内安全ビデオの視聴率向上を図るため機内空間をジャズラウンジに見立ててストーリー性を持たせ、思わず見たくなる内容構成とすること、旅客がストーリーの中の登場人物となるような疑似体験を図ることにより安全に関するイメージを確立</p> <p>② 安全に関する事項を伝える工夫 安全について伝えたい・協力願いたい事項（シートベルトの着用、機内禁煙、スマートフォンの機内モード、酸素マスクの使用法、脱出経路の説明、救命胴衣の使用法等）を旅客に理解しやすく伝えるような工夫</p> <p>【機内をジャズラウンジに見立てる】      【シートベルトの案内】</p>   <p>【機内喫煙】      【スマートフォンの機内モード】</p>  

【酸素マスクの使用方法】



【脱出経路の説明】



【救命胴衣の使用方法】



【機内安全ビデオの公開 WEB】

<https://www.starflyer.jp/inboard/safetyvideo/>

取組の効果

1. 定性的ではあるが、旅客が機内安全ビデオを熱心に見ており、関心を持って視聴頂いていると考えている。
2. 因果関係が明らかではないが、シートベルトの未装着、トイレでの喫煙、電子機器の操作等の報告件数は低位となっている。

事業者名

株式会社 スターフライヤー